

お世話になっております。

暦の上で1月下旬の「大寒」から2月初めの「立春」の頃が、最も寒さが厳しくなります。今はまさにその真っ只中にありますが、今回はこの時期の自転車利用時の留意点についてお知らせします。

冬は気温低下に伴う路面凍結で、スリップ・転倒事故が起きやすくなります。道路面の温度が0℃以下になると路面凍結が始まりますが、実際には気温と道路面には温度差があり、気温が3℃の時でも路面温度が0℃以下になり、道路が凍結することがあるそうです。

気を付けなければならない場所としては、日差しの届かない建物の陰に加え、「橋の上」や「横断歩道の白線」が挙げられます。

「橋の上」は風通しがよく、風で地面が冷やされ気温が下がるため凍結しやすく、「横断歩道の白線」は、アスファルトと比べ水分が表面に残りやすく温度が上がりにくいことから、表面部分が凍りやすいとされています。

通学等での自転車利用時のみならず、歩行中もこのような凍結が原因で発生する自動車や自転車の事故に巻き込まれないように留意するよう、生徒の皆さんに注意喚起をされてはいかがでしょうか。

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

---

本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、下記よりお願いします。

▼登録内容編集

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/tf.php?id=149239601>

過去に配信したメルマガは、以下 URL よりご覧になれます。

▼バックナンバー

<http://www.jaef.or.jp/7-mail-magazine/index.htm>